

東京都立浅草高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科 科：地理歴史 科 目：日本史探究  
 対象学年：2 学年  
 教科担当者：教員一覧参照  
 使用教科書と教材は別紙を参照  
 該当教科と科目の目標  
 【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。  
 【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。  
 【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数を入ると時数が自動的に出ます。

単位数 4

指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数	
4月 単元名：原始・古代の日本と東アジア 知：原始・古代の社会について多様な観点から適切に理解する。 思：古代社会の成立の背景について適切に表現することができる。 学：原始・古代の重要性を理解し、積極的に活用しようとする。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・日本の原始社会について基礎的な事柄を理解する。古代社会について人々の生活や政治・経済などの様々な観点から適切に理解する。また、古代末期の社会の混乱に着目し、古代から中世への時代の転換の背景について考察することができる。古代の文化と東アジア世界について興味関心を持ち、考察を深めようとする態度を身に付ける。 ・東アジア世界と古代日本の文化についてその概要を理解する。また、「国風文化」について、それぞれの関係性や日本の歴史に与えた影響を考察することができる。 ・中世社会について政治・文化・外交などの多様な視点から理解し、その出来事が現代社会に与えた意義に着目して考察を深めることができる。また、その知識を、現代における諸問題の解決に活用しようとする姿勢を身に付ける。 ・中世の公家政権・武家政権について基礎的な事柄を理解するとともに、その歴史的な性格について考察することができる。中世文化の広がりに着目し、現代における諸問題との関連について考察することができる。また、中世の外交関係について積極的に理解しようとする態度が身に付いている。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	4	
						5月	16
						6月	8
						7月	12
						8月	0
						9月	12
10月 単元名：近世の日本と世界 知：近世の国制と社会についてその概要を理解する。 思：近世の対外関係について、概要を表現する力を身に付ける。 学：近世の学問文化の影響を考察し積極的に現代を理解しようとする。 11月 単元名：近現代の地域・日本と世界 知：近代国家の成立についてその概要を理解する。 思：世界大戦と日本の関わりについて表現する力を身に付ける。 学：第二次大戦の影響を理解し、その教訓を活用しようとする。 12月 単元名：現代の日本の課題の探究 知：戦後日本の再出発について適切に理解する。 思：冷戦の構造と脱植民地化について表現する力を身に付ける。 学：現在の日本社会との関わりについて積極的に理解しようとする。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・近世社会についてその成立・特徴についてその概要を理解している。また、江戸幕府の成立が社会に与えた影響について考察を深め、関連する現代的問題について興味関心を持って学ぶ姿勢を身に付ける。 ・近世の民衆文化についてその概要を理解する。また、近世の学問や文化が社会に与えた影響に着目し、現代社会の諸問題との関係について深く考察しようとする態度を身に付ける。 ・幕藩体制の崩壊と近代国家の成立について適切に理解し、その知識をもとに、近世から近代への移行について深く考察することができる。また、その知識を現代社会における問題の解決に活用しようとする態度を身に付ける。 ・石油危機や冷戦の終結、地域紛争など、現代的な課題についてその概要を理解することができる。また、それらの問題に対する解決策や原因などについて考察を深めることができる。さらに、学んだ知識を活用しながら資料などを積極的に分析することができる。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	8	
						11月	12
						12月	8
						1月	16
						2月	4
						3月	0